

【女子3000級】自己ベストを更新し3位となった上野（八戸学院大）YSアリーナ八戸



スピード長根ファイナル最終日

「YS CUP 長根ファイナルスピードスケート競技会」（県スケート連盟主催）は最終日の3日、八戸市のYSアリーナ八戸で男子3種目、女子2種目を行った。県勢は、女子3000級で上野恵理子（八戸学院大）が4分20秒52と自己ベストを塗り替えて3位になったほか、同1000級で金井愛未（同）が1分19秒71の自己ベストで5位に入った。

男子は1000級で山本大史（県競技力対策本部）が1分10秒99で5位、同3000級では村上雄太（八戸西高）が自己ベストを更新する4分6秒04で7位となった。

（岡田圭逸）

ラストレース 笑顔

上野（八戸学院大）は15年間の競技人生最後のレースとなった女子3000級を3位で飾った。部員らから贈られた花束を手に「4分20秒を切れなかったのは悔しいが、前日の疲労も残る中、自己ベストを2秒更新できた。OKです」と満足げな笑顔を見せた。

八学大スピードスケート部女子の主将として10人の部員をけん引した。3日の女子1000級で5位の金井と同3000級で9位の木村、11位の島、12位の近藤は2年生。木村は速く、島は最後までやり切る。近藤には私が昨日、5000級でつくれた県記録を塗り替えてほしい。短距離の金井も含めみんな、競い合ってくれば」と後輩たちにエールを送った。

（岡田圭逸）

上野

（八学大）

3位

女子3000